

いけざわこどもクリニック予定表

- ・ 木曜・土曜午後から休診ですが、かかりつけの患者さんの急患対応は行います。お薬は限定され、院内処方一日です。
- ・ 平日夜間急患は、21-22時にご連絡ください。
- ・ 不在、かかりつけ以外の方は、日赤・地域医療センターへお願いします。(時間外は紹介状なしで受診できます)

月	火	水	木 午後休診	金	土 午後休診	日 急患のみ対応
	2月				12:30まで診察	休診
		1日	2日	3日	4日	5日
			勉強会：不在		勉強会：不在	再春荘病院 小児科医当直予定
6日	7日	8日	9日	10日	11日 8時~10時まで在宅 以後不在	12日
			ワクチン中止 乳児健診 夜：不在		建国記念日 休診	休日当番医 9:00~17:00
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
	再春荘病院 小児科医当直予定		夜：勉強会		夜：不在	東京出張
20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
学会準備会			医療センター 19時~24時当直	再春荘病院 小児科医当直予定		乳児健診講習会
27日	28日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日
			ワクチン中止 3歳児健診 勉強会：不在		ワクチン中止 昼より不在 東京	

* アイチケット予約の方は必ず「まだかな」で確認してお越してください*
2/12(日)休日当番医(9:00~17:00)

かさねがさね・アイチケット ~その3~

アイチケット開始時間を早めました。昼は2時30分へ

午後の開始を早めたのは、健康外来のための特別な時間内に、順番取りの患者さんが待合室に居られて、混在してることが多く見られるようになったためです。

進行状況をしる裏技(携帯を利用されている方のみです)

アイチケットで順番を取った。で、直ぐ来院ではありません。今の進行状況をよく確認することが大切です。アイチケット「すぐいく!」で入力して発射したあと、受付番号を確認して番号を覚えます(これができないとこの技は使えません)。そのあとの順番確認はメールで行います。get1189@paa.jpへ空メールすると、すぐ返事が返ってきて、一番したに、現在の呼び出し番号、待ち人数の情報が記載されます。

アイモードに接続しなくても、進行状況がわかり、順番前の来院が可能になります。

アイチケット開始時間は 午前8:30~11:30 午後2:30~6:00です

診察予定時間を超える場合、やむ得ずアイチケットを予定時間より早めに切る場合がありますが、その場合、直接来院せず、電話にてご相談ください。(夜間診察可能のときには診察させていただきます)

順番の時間通りこられない方は、やむ得ぬ事情がない限り順番を後にまわす事があります

皆様のご協力よろしく申し上げます



早いもので、もう 2 月になりました。
いよいよインフルエンザが流行期を迎えます。
手洗い、うがいは勿論、なるべく人ごみの中
に出歩かないことも予防です。

当院スタッフも全員ワクチン接種済みですが、仕事に支障がないよう連日マスク着用中です。ご存知の通り、院内を熱のある方と熱のない方は分けてお待ち戴いておりますが、さらにインフルエンザ陽性の方はお部屋を準備していますのでその中でお待ちください。その他に、院内感染を憂慮される方にはマスクを差し上げますので遠慮なくお申し出ください。



「すくいく！」だけど、すくいかない
～アイチケットの疑問？～



アイチケットを導入してやっと一年が経ちました。スタッフの根気強い説明と、皆様のご協力により、現在 90%以上の方が利用してくださり、そしてなにより、とても上手に来院されるようになったと感心しております。以前のように 2 時間 3 時間待ちでも院内に人があふれることなく、感染防止にもなりますから、やはり素晴らしいシステムなのですね。夏に行われたアンケートでもアイチケット導入で待ち時間が短縮したという多くの声がありました。しかし、受付業務をしていると、例えば今 20 番を呼び出しなのに 50 番、60 番の方が来られたりするケースが時折あります。これは、「すくいく！」で予約する為なのでしょうでしょうか？そもそも何故「すくいく」なのか私は以前から疑問でした。「予約する」に変えれば良いと思うのですが、既に現在多くの医院でこのシステムを導入している為、私の意見などは反映されません。システムを開発した会社に意見を出したところ、変更するにはかなり大きな金額がかかるとの返答。

そこで皆様へのお願いですが、「すくいく」で予約後、御自分の番号を必ず確認されてから来院していただければ、と思います。「送信して、すぐ来てしまった」「外にいたから、そのまま来ました」と来院される方もおられますが、実は 20 分待ちで「ひいえー！！」と結局一旦帰宅して頂くことが多々あります。

また「子どもが早く行きたがって」「病院が好きなんです」「大丈夫です。待ちます」と言ってくださることは、私達にとってとても有難く嬉しいことなのですが、やはり院内感染防止、そして子育て中の皆様の貴重な時間を病院で費やすことの無いよう、アイチケットシステムを上手く利用して頂きたいと思います。

まな板の上の鯉



昨年 12 月のこと。私は急に強い倦怠感と寒気、高熱に襲われた。熊本ではまだ流行していないものの、出歩く機会が多かったのどこからかインフルエンザをもらったのだらうと検査するが、結果は陰性。血液検査をする怖いくらい白血球が下がっているではないか・・・。
翌日から近くの S 病院に 1 週間入院し、白血球が改善し

ないまま絶対安静を条件に無理矢理退院させてもらったのだが、体調は更に悪化し、肝機能も上昇、とうとう国立の血液内科を受診することになってしまった。大きな病院で働いていたが、実際自分が患者として大病院の外来受診をするのは初めてなことにその時気付いた。人がごった返す中、右も左も分からず、初診の為、総合受付でカルテを作ること 20 分、廊下に貼られた線を頼りに血液内科へどうにかたどり着く。狭い廊下の両脇のベンチには溢れんばかりの人々・・・。隙間を見つけて腰を下ろしたら、まるで電車の椅子取りのようで、この場所を離れようものなら二度と座れない危機感がよぎる。長期戦の予感・・・。寝たふりをしながら

「一体、何時間待てばいいのだろう。スタッフは昼ご飯たべれるのかな？私一人で良かった、子連れは大変だろうな、一時間に何人診てるんだろう？うちの患者さんもこんな気持ちだろうか？いや、うちはアイチケットだもんねー！」そんな勝手なことを次々と思い巡らして、時々目を開け確認しても周りの顔ぶれは変わらない。本当に診察は進んでいるのだろうか？ぐったりした私達は同じ列車に揺られ、どこかに連れていかれるみたいみたいだ、こんなに長い時間一緒ならいっそもう

みんな友達になったら楽しく待てるんじゃない？具合が悪いハズなのにそんなバカなことばかり考えていると、「だから、いったい私が誰の後で、どれくらい待つのかそれが知りたいだけだ！」年配の男性の大きな怒鳴り声に皆の視線が集中した。外来の看護師が一生懸命謝っている。

「あぎゃーん言わんでよかとに、だまーって待たなこて」隣のおばあちゃんの叱るような呟きに周囲の人々は小さく頷く。既にその時にベンチに腰掛けて 2 時間が経過していた。私達はただ、自分の名前が呼ばれ、診察室に入るのを今か今かと待ち焦がれている、まるでまな板の上の鯉だ。全く無力でいつ呼ばれるかと身動きさえ出来ない。たとえ何時になろうとも待つしかない、診察せずに帰ることは出来ないのだ・・・。「池澤さまー」やっと呼ばれたその声に向かうと、なんと血液検査とエコーに行ってください、とのこと。心の中で「え？今から？」そう思っても文句は言えない、従うしかない。ふらふらと院内を彷徨いながらそれぞれの検査を済ませ戻ってきた頃には「友」はもういなくなっていた。どうやら私は本日の「とり」のようだ。「池澤さんお入りください」ようやく先生の声で呼ばれたのは来院してから 4 時間後のことだった。もうかなり開き直っていたが、診察室に入って「本当にお待たせしました」と言ってくださった医師の言葉には誠実さを感じられた。「診断ははっきりしませんが検査結果は悪性のものではありません」待ち望んだ言葉にその日、いや、病気になって以来、初めて気持ちが緩んだ。その一言の、その一瞬の為に費やした 4 時間、帰り道はホッとして嬉し涙も出そうだったが、同時に体がきつくて辛くて泣きたくなった。まさに命がけの受診・・・。

私はその日アイチケットの便利さをつくづく痛感した。病気の不安を抱え来院される患者さんたちにとって、長い待ち時間は精神的にも肉体的にもダメージを与えることになる。待ち時間をお知らせすることは時間を大切にすることはだけでなく、その人をも尊重することにつながるような気がした。
文責 池澤千恵子